

2003年度（平成15年度） 第3回常務理事会記録

日時：

2003年（平成15年）3月31日（月）11：40—13：45

場所：

アクロス福岡5階「503会議室」

出席者：

廣川信隆（理事長）、猪口哲夫、河田光博、高田邦昭、山科正平（以上、常務理事、
但し河田理事は途中から参加）依藤 宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：

なし

I 会議記録の確認

1. 2003年度（平成15年度）第2回常務理事会記録（案）
2. 2003年度（平成15年度）第1回理事会記録（案）
3. 2003年度（ " ）第1回理事会議事録（案）

以上3件の会議記録（案）が承認された。

II 報告事項

1. 庶務報告（猪口庶務担当理事）
 - i. 平成16年度(2004年度)科研費審査委員候補者推薦の件
選挙管理委員会（委員長 大河原重雄自治医大教授）による選出選挙開票結果報告および平野 寛解剖学研連委員長よりの
 - a. 2003年3月28日現在日本学術会議から解剖学研連に対して正式な推薦依頼の文書が届いていない、
 - b. 解剖学一般の第2段審査については昨年より2—3名増員したものを、他に
については昨年度と同様の数の候補者案を用意して頂きたい
との連絡についての報告がなされた。これらを受け委員候補者に関する常務理事会案が検討・決定され、理事会に提出されることになった。
 - ii. 日本学術会議第19期会員候補者推薦の件
選挙管理委員会（委員長 大河原重雄自治医大教授）による選出選挙開票結果が報告された。得票順位は第1位井端泰彦教授（95票）、2位猪口哲夫教授（58票）、3位井上芳郎教授（54票）であった。この結果を受け、会員候補者を井端

泰彦京都府立医科大学学長、推薦人を廣川信隆理事長、推薦人予備者を猪口哲夫常務理事とし、理事会に諮ることが決定された。尚、人類学・民族学研連への解剖学会からの推薦人としては金澤英作日本大学松戸歯学部教授、馬場悠男国立博物館部長、推薦人予備者としては石田英實京都大学教授が予定されている。

2. 編集報告（高田編集担当理事）

i. 学術集会抄録データベースについて

全国学術集会2002年、2003年分の抄録データベースをUMINからJSTへ移行するにあたっては加工が必要となるが、この手続きに関しては技術的に困難な点もあり、現在打開策を検討中である。また地方会抄録については印刷体のものがあるので、遡ってデータベース化が必要かどうか、支部長会で検討して頂くことが決定された。

3. 会計報告（山科会計担当理事）

i. 2002年度決算及び監査報告の件

2002年度収支決算書及びそれに対する内山安男大阪大学教授、上田秀一独協医大教授の両監事による監査、および宮内忍公認会計士による監査の結果について報告がなされた。

III 審議事項

1. 日本解剖学会動物実験指針（案）の件

学術委員会（委員長柴田洋三郎九州大学教授）より提出された日本解剖学会動物実験指針について審議がおこなわれ、一部修正のうえ理事会に提出されることになった。

2. 「日本解剖学会『文部科学省科学研究費補助金審査委員候補者選挙に関する内規』」一部改訂の件

科研費審査委員候補者推薦委員会の提案による上記候補者選挙に関する内規改訂案について審議がおこなわれ、一部改訂したものを常務理事会案として理事会に提案することになった。

3. 2003年度総会・学術評議員会資料及び議事進行の確認

4. その他

i. 科研費審査委員候補者推薦委員会の委員名の公表の是非について

前回理事会において質問の出た標記の件につき、審議がおこなわれた。常務理事会としては候補者は理事長、常務理事会が大所高所に立って判断する人であつて本人が科研費の審査員にならないような人という基準で案を作成し、理事会で承認を得ていること、和文誌、ホームページ等で公開した場合、委員に対する働きかけがありうること、理事会の場では公開されていることなどから公開するとすれば事業が済んだ後の事後報告が適当であるとの結論に至った。

ii. 編集委員会に関して

編集委員会の業務に関して、現在は和文誌、英文誌両方の編集委員会が別々に存在するが、両者の整合性をとる意味からはやや無理な点もあり現状からは両委員会と常務理事会との意志の疎通を良くする必要がある。また雑誌編集については

長期的見通しが不可欠なので、委員構成に関しては比較的短期で入れ替わる他の委員会とは区別して考えるべきである等の意見が出された。